

資料 1

発達障がい者支援センター 事業実施状況について (令和5年度・令和6年度6月末)

資料 1-1

令和5年度発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-2

令和6年4月～6月発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-3

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和5年4月～令和6年3月）

資料 1-4

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和6年4月～年6月）

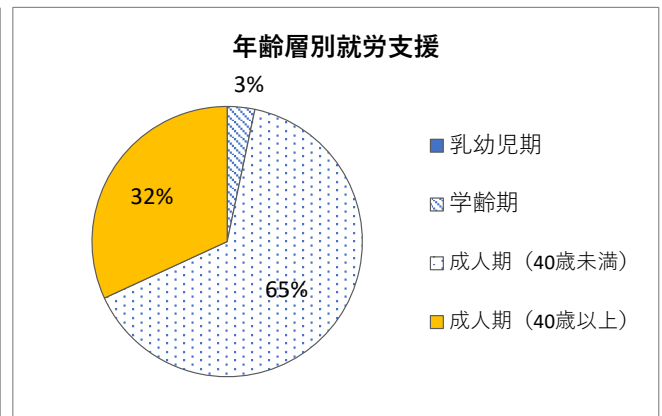
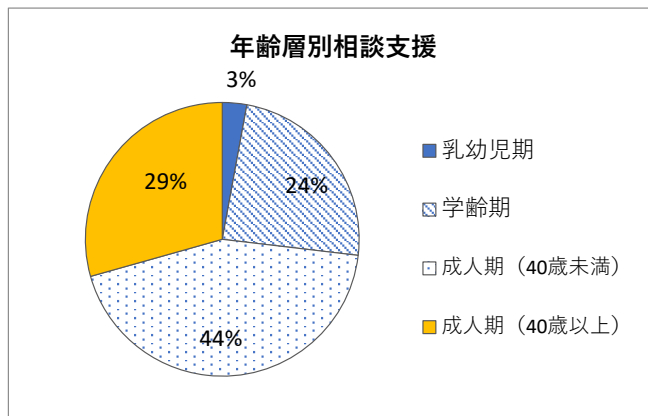
<相談件数（実支援人数）>

1-1 年齢別

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	24	0	24	17	0	17	15	0	15
学齢期	166	6	172	152	5	157	125	6	131
成人期（40歳未満）	288	96	384	243	125	368	228	118	346
成人期（40歳以上）	159	51	210	165	52	217	153	58	211
合計	637	153	790	577	182	759	521	182	703

【参考】
うち新規
件数

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	24	0	24	17	0	17	15	0	15
学齢期	140	6	146	131	5	136	104	6	110
成人期（40歳未満）	185	68	253	148	88	236	148	71	219
成人期（40歳以上）	111	28	139	115	27	142	103	35	138
合計	460	102	562	411	120	531	370	112	482

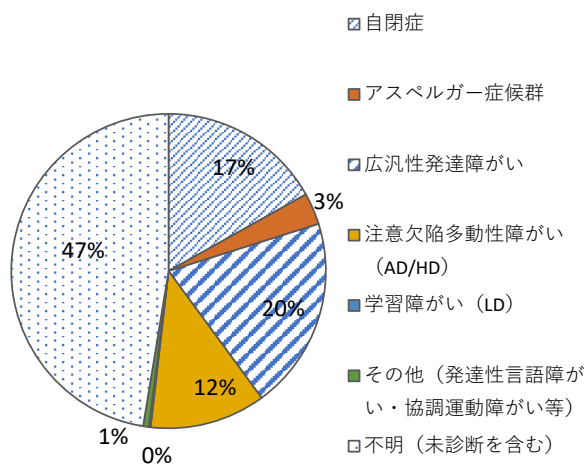


1-2 診断別

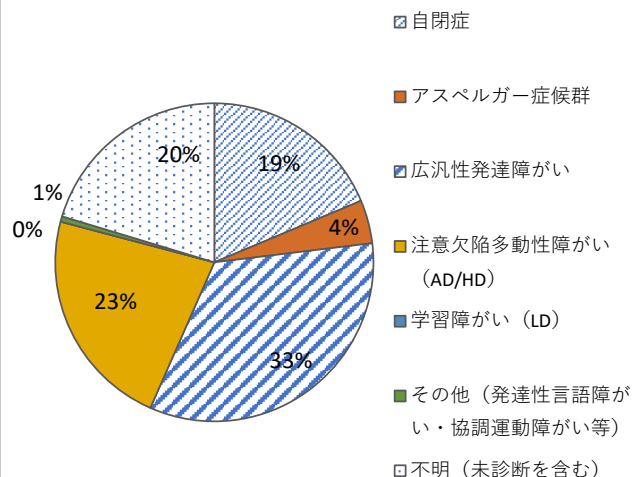
	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
自閉症	17	2	19	10	9	19	88	34	122
アスペルガー症候群	26	12	38	29	11	40	17	8	25
広汎性発達障がい	204	74	278	174	84	258	103	61	164
注意欠陥多動性障がい (AD/HD)	61	30	91	77	37	114	62	41	103
学習障がい (LD)	4	2	6	1	0	1	1	0	1
その他（発達性言語障がい・協調運動障がい等）	3	1	4	5	3	8	3	1	4
不明（未診断を含む）	322	32	354	281	38	319	247	37	284
合計	637	153	790	577	182	759	521	182	703

※令和5年度からは国報告の集計方法の見直しにより、「広汎性発達障がい」のうち、ASD（自閉スペクトラム症）を「自閉症」区分へ計上するよう変更。

診断名別相談支援



診断名別就労支援



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

	相談・発達	就労	計
令和5年度	14	15	29

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

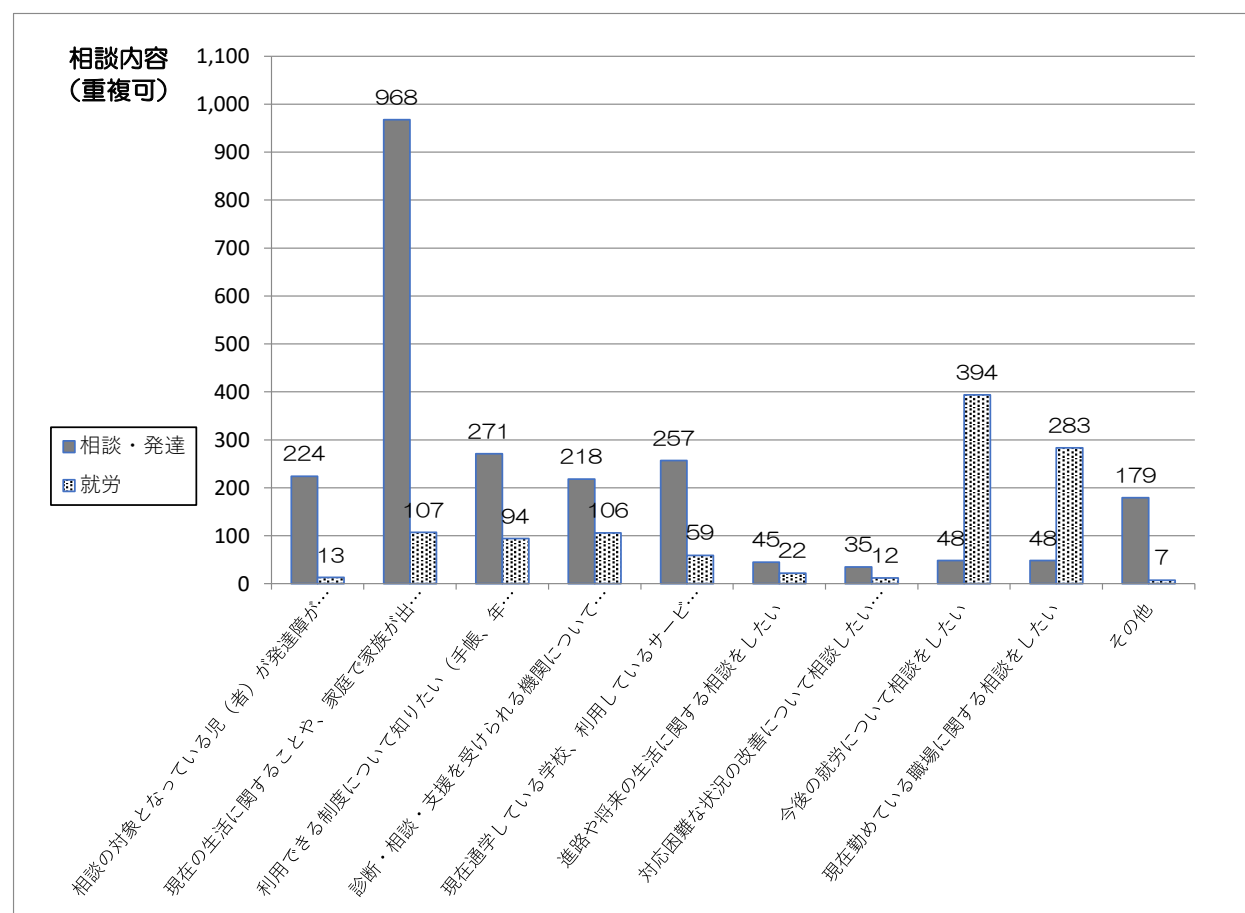
	相談・発達	就労	計
令和5年度	7	5	12

4 相談内容（重複選択可）

	相談・発達		就労		小計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	224	9.8%	13	1.2%	237	7.0%
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	968	42.2%	107	9.8%	1,075	31.7%
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	271	11.8%	94	8.6%	365	10.8%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	218	9.5%	106	9.7%	324	9.6%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	257	11.2%	59	5.4%	316	9.3%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	45	2.0%	22	2.0%	67	2.0%
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	35	1.5%	12	1.1%	47	1.4%
今後の就労について相談をしたい	48	2.1%	394	35.9%	442	13.0%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	48	2.1%	283	25.8%	331	9.8%
その他	179	7.8%	7	0.6%	186	5.5%
合計	2,293		1,097		3,390	

【参考】

	令和3年度			令和4年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	266	24	290	227	23	250
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	1,205	144	1,349	1,033	151	1,184
利用できる制度について知りたい	333	103	436	354	96	450
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	413	96	509	354	129	483
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	133	19	152	274	30	304
進路や将来の生活に関する相談をしたい	75	29	104	63	16	79
対応困難な状況の改善について相談したい	50	6	56	55	3	58
今後の就労について相談をしたい	116	513	629	80	502	582
現在勤めている職場に関する相談をしたい	48	208	256	25	264	289
その他	330	9	339	288	4	292
合計	2,969	1,151	4,120	2,753	1,218	3,971



5 機関支援

105回実施（令和5年度）

実訪問か所 56か所

6 研修・啓発

参加総数 3,213名

実施回数

主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	27
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	127
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て応援講座	14
講師派遣	出前研修、啓発研修等	31
計		199

7 発達ノート発行数

令和5年度（196冊）	累計	3,255冊
-------------	----	--------

論評

・個別相談：成人期8割、学齢期2割、乳幼児期1割未満と年々成人期の方の割合が増加（R3 - 75.2%、R4 - 77.1%、R5 - 79.2%）している。実支援人数のうち、R5年度の新規相談は482名（68.6%）、前年度からの継続相談は221名（31.4%）となっている。乳幼児期、学齢期の新規相談125件のうち121件は家族からの相談となっている。成人期の新規相談357件のうち、本人からの相談は196件（55.0%）、家族からは125件（35.0%）、関係機関からは33件（9.2%、うち企業5件）となっている。診断別では未診断の方が40.4%（平成28年度 - 51.3%）であり、以前と比較すると電話相談の時点で診断可能な医療機関の情報提供をすることが減っている要因と思われる。相談の内容としては、「現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい」（31.7%）が最も多く、次に「今後の就労について相談をしたい」（13.0%）、続いて、障がい年金や傷病手当、失業給付、福祉サービスなどの「利用できる制度について知りたい」（10.8%）の順に多く、相談内容は多岐にわたっている。

・機関支援：訪問先は私立保育園が一番多い。

・研修・啓発：PT公開講座の1回をオンラインで実施しオンデマンドで配信、支援者講座の基礎講座2回をオンラインで実施した。PTは、ここ数年幼児グループの申込みが減少していたため、令和5年度は6クールから5クールに変更し、新たにPT導入講座としてクレオ大阪子育て館と共催で子育て応援講座（2回連続講座）を年2回開催した。講座への参加申込みはコロナ禍以前と比べても保護者からの申込みが増えた。

・「こころとからだのWS」は、令和4年度と同様、大阪市職業リハビリテーションセンターJC科の訓練生とコラボで実施。

・「発達障がいがある学生等の就労準備支援事業」は、サテライト・オフィス平野（就労移行支援事業所）に協力を得て開催。大学生の相談が少ないため既卒の方を含めて、特例子会社の見学・作業体験と、履歴書講座と面接時のマナー講座を開催した。

<相談件数（実支援人数）>

1-1 年齢別

	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	17	0	17	15	0	15	3		3
学齢期	152	5	157	125	6	131	57	1	58
成人期（40歳未満）	243	125	368	228	118	346	101	62	163
成人期（40～64歳）	165	52	217	153	58	211	60	26	86
成人期（65歳以上）							6	0	6
合計	577	182	759	521	182	703	227	89	316

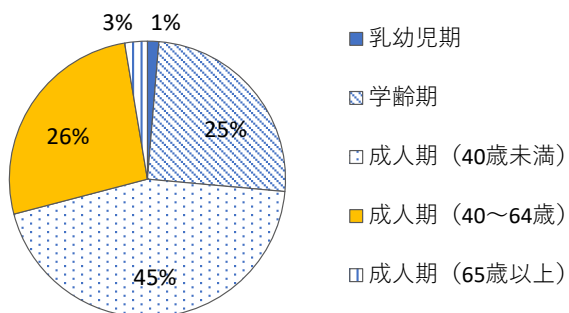
※令和6年度は6月末までの件数

【参考】 うち新規 件数		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
	乳幼児期	17	0	17	15	0	15	2	0	2
	学齢期	131	5	136	104	6	110	38	1	39
	成人期（40歳未満）	148	88	236	148	71	219	41	17	58
	成人期（40～64歳）	115	27	142	103	35	138	22	8	30
	成人期（65歳以上）							3	0	3
	合計	411	120	531	370	112	482	106	26	132

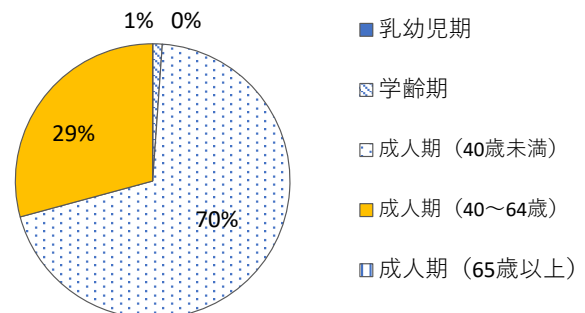
※令和6年度は6月末までの件数

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しを基に、成人期について、従来の2区分（40歳未満、40歳以上）から3区分（40歳未満、40歳以上64歳未満、65歳以上）へ変更。

年齢層別相談支援



年齢層別就労支援



1-2 診断別

	相談・発達	就労	小計
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい	94	59	153
注意欠陥多動性障がい（AD/HD）	51	26	77
学習障がい（LD）	5	1	6
発達性協調運動障がい、トゥレット症候群、吃音	1	0	1
発達障がいに加え知的障がいを伴う場合	19	7	26
その他（未診断を含む）	106	26	132
合計	276	119	395

※令和6年度からは国報告の集計方法の見直しにより、次の内容を反映。

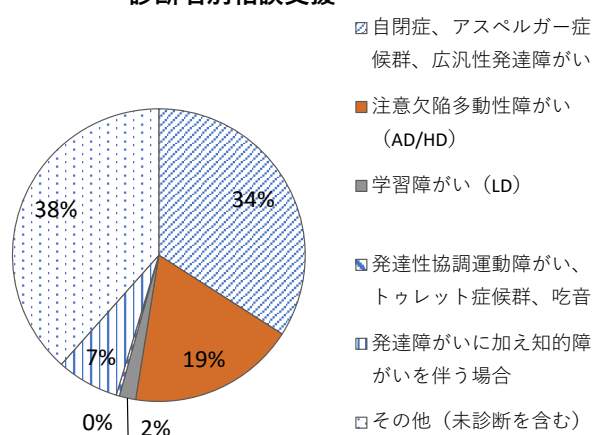
・主な診断名による集計から、医師の診断に基づき、該当する各診断名ごとの集計となったため、それに合わせた集計へ変更。

（実人数から延人数へ変更となったため、「1-1年齢別」と「1-2診断別」の合計件数は一致しない。）

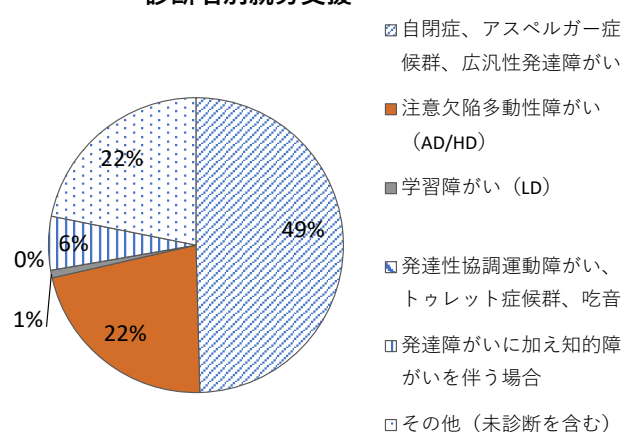
・これまで別々の事項で集計していた「自閉症」「アスペルガー症候群」「広汎性発達障がい」を1つの事項へ集約。

・「発達障がいに加え知的障がいを伴う場合」の事項が新たに設けられたため、本資料でも追加。

診断名別相談支援



診断名別就労支援



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
2	3	5

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

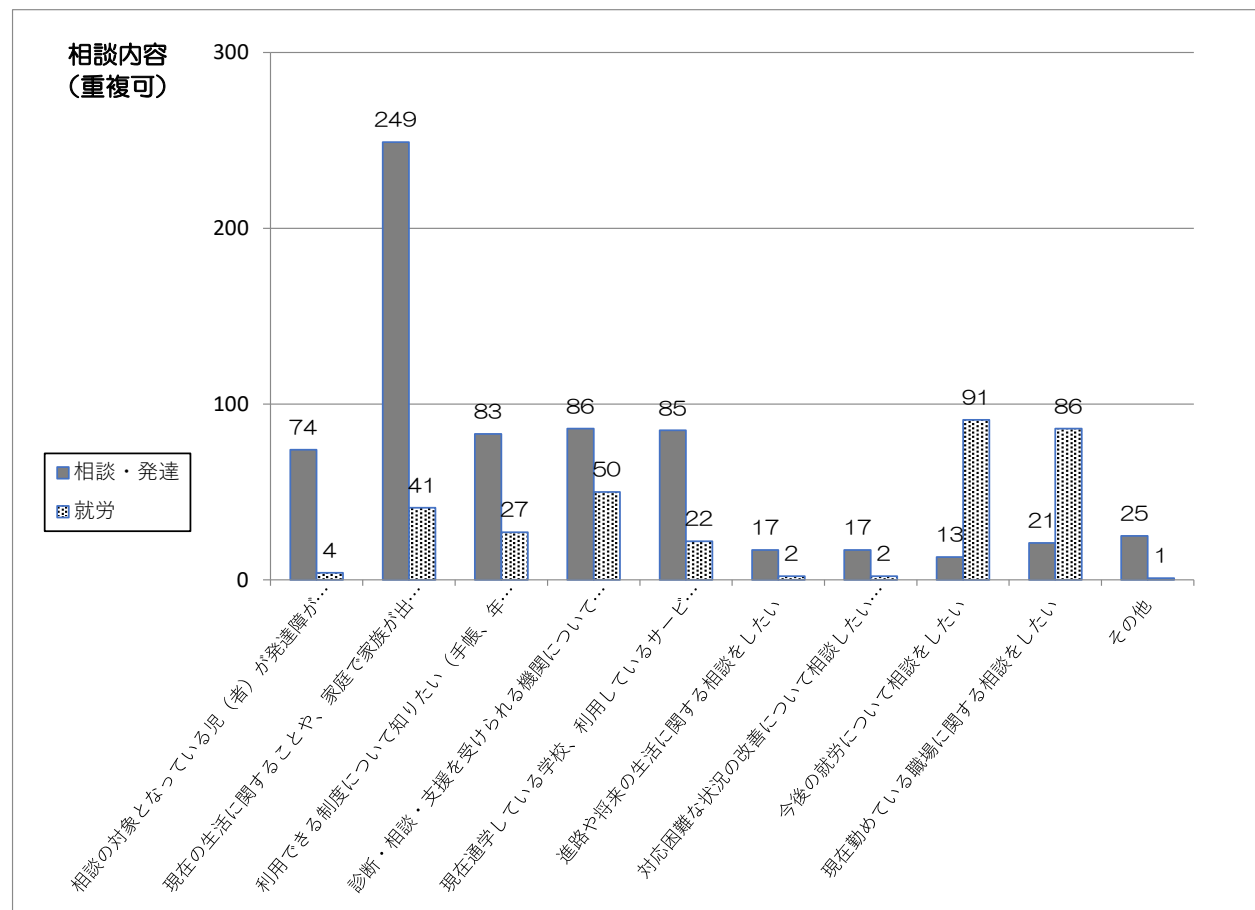
相談・発達	就労	計
0	1	1

4 相談内容（重複選択可）

	相談・発達		就労		小計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	74	11.0%	4	1.2%	78	7.8%
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	249	37.2%	41	12.6%	290	29.1%
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	83	12.4%	27	8.3%	110	11.0%
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	86	12.8%	50	15.3%	136	13.7%
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	85	12.7%	22	6.7%	107	10.7%
進路や将来の生活に関する相談をしたい	17	2.5%	2	0.6%	19	1.9%
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	17	2.5%	2	0.6%	19	1.9%
今後の就労について相談をしたい	13	1.9%	91	27.9%	104	10.4%
現在勤めている職場に関する相談をしたい	21	3.1%	86	26.4%	107	10.7%
その他	25	3.7%	1	0.3%	26	2.6%
合計	670		326		996	

【参考】

	令和4年度			令和5年度		
	相談・発達	就労	小計	相談・発達	就労	小計
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	227	23	250	224	13	237
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	1,033	151	1,184	968	107	1,075
利用できる制度について知りたい	354	96	450	271	94	365
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	354	129	483	218	106	324
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	274	30	304	257	59	316
進路や将来の生活に関する相談をしたい	63	16	79	45	22	67
対応困難な状況の改善について相談したい	55	3	58	35	12	47
今後の就労について相談をしたい	80	502	582	48	394	442
現在勤めている職場に関する相談をしたい	25	264	289	48	283	331
その他	288	4	292	179	7	186
合計	2,753	1,218	3,971	2,293	1,097	3,390



5 機関支援 15回実施（令和6年4月～6月） 実訪問か所 14か所

6 研修・啓発

参加総数 586名

実施回数

主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	4
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	19
共催講座	成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て応援講座	3
講師派遣	出前研修、啓発研修等	2
計		28

7 発達ノート発行数

令和6年4月～6月（21冊）	累計	3,276冊
----------------	----	--------

論評

・個別相談：成人期の方が80.6%を占めている。乳幼児期、学齢期の新規相談41件のうち家族からの相談は39件（97%）となっている。成人期の新規相談91件のうち、本人からの相談は59件（65%）、家族からは28件（31%、父母17件、配偶者7件、兄弟3件、義母1件）、関係機関からは2件（2%、HP、計画相談）、その他2件（知人）となっている。相談内容の内訳としては、「現在の生活に関すること」が一番多く、続いて、「診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい」や、「利用できる制度について」の相談が多い。

・機関支援：私立保育園からの申し込みが中心となっている（71%）。

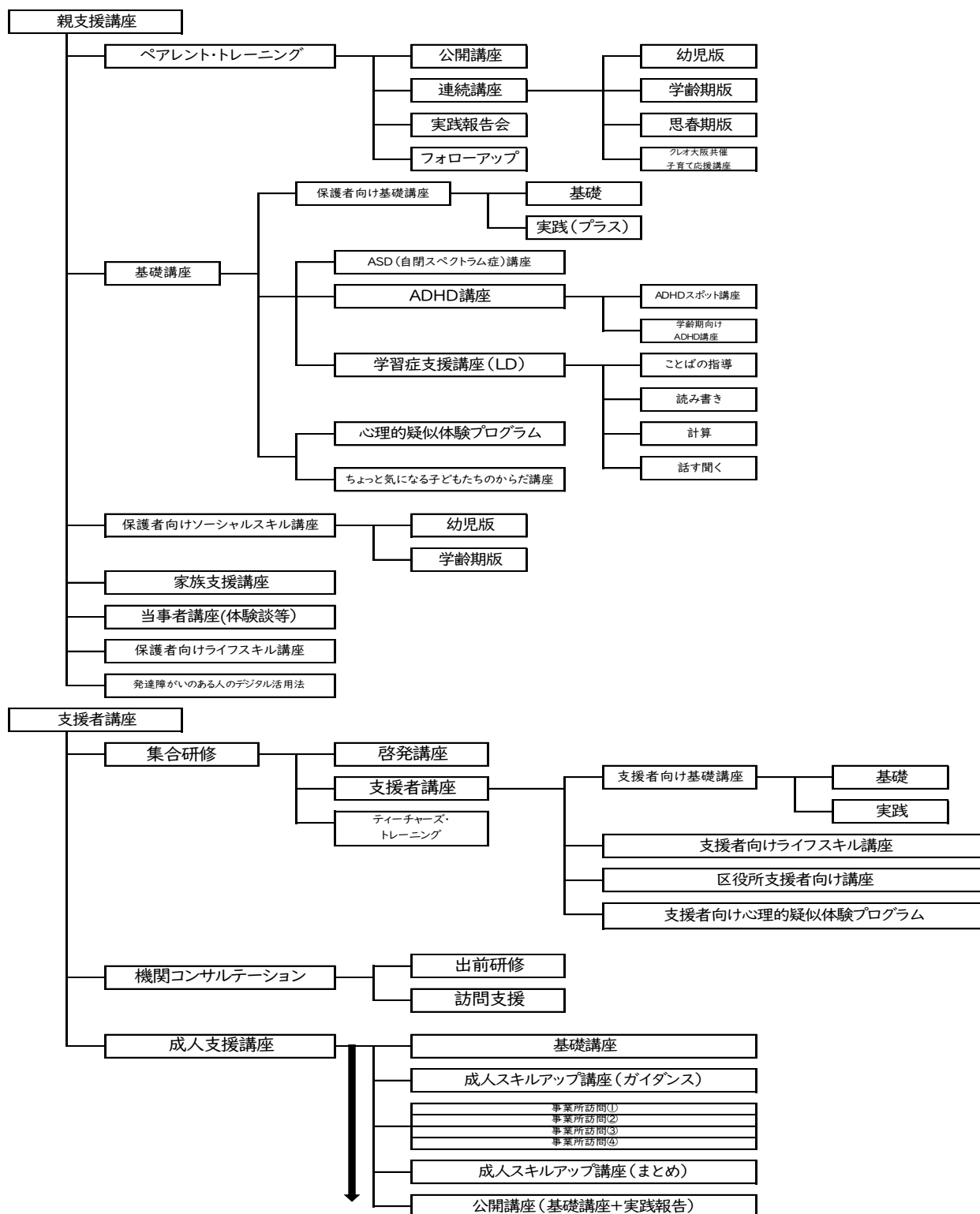
・研修・啓発：令和5年度は、親支援講座の基礎講座と支援者講座の基礎編を実施していたが、今年度は保護者と支援者が共に受講できるオンラインの基礎講座（当日配信と後日のオンデマンド配信）として年間2回実施する。実践編として、成人支援事業所スタッフと児童発達支援・放課後スタッフに分けて、どちらも対面式（含グループワーク）で実施する。昨年度は2時間の講座であったが、3時間にして、より実践的な内容に変更した。ペアレント・トレーニング連続講座後のフォローアップについて、これまで各グループ最終回の約3ヶ月後にフォローアップの会を設けていたが、令和6年度からは、フォローアップ定期会として6回実施し、ペアトレ修了者が年度やグループを超えて参加できることとする。

・「こことからだのWS」と「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、現在準備中である。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和5年4月～令和6年3月）

事業概要

エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（3回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/15	J E C 日本研修センター心斎橋	41	18	59
9/1	ドーンセンター	27	8	35
11/13	WEB（オンデマンド）	30	26	56
計		98	52	150

★公開講座アンケート結果（回収率81%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	72
わかりやすかった	43
難しかった	1
かなり難しかった	1
無回答	5
計	122

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	67
参考になった	49
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	122

【感想・意見】

・例え話をはさみながらの説明に1つ1つうなづきました。（隣の方もうなづいてました）まさにそれ！！といった感じでした。ペアトレぜひうけたいです。

・子どもの行動や言動に意味があり、しっかり観察し、子どもの気持ちを受容し、今日学習したペアレント・トレーニングを通して子どもとの信頼関係築いていこうと思います。

・わが子がASDとADHDで、子の発達障がいについてたくさん勉強してきましたが、まだまだ知りたい事がたくさんあり、あと2～3時間以上受けたい講座でした。親子関係は良い方だと思いますが、発達障がいは治ることがないので、今後もわが子の力、支援になって行けたらいいなと思っています。

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

1. 連続講座（幼児期・学齢期・思春期）

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

★実施済（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール 9回×1クール 計89回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	5/10～7/19	ドーンセンター	5	1	6
	9/15～12/8	浪速区民センター	5		5
	9/21～11/30	城東区民センター	7		7
	1/11～3/21	西成区民センター	3		3
	1/15～3/18	大阪市中央公会堂	7		7
学齢	5/10～10/25	難波市民学習センター	5		5
	5/11～10/26	中央区民センター	7		7
	8/29～1/16	浪速ビル	9		9
	10/16～3/11	阿倍野区民センター	9		9
	10/18～3/6	住吉区民センター	8		8
思春期	11/2～3/7	大阪産業創造館	6		6

2. 発達ゆっくりさんの子育て応援講座（クレオ大阪子育て館との共催）

子供の行動について学び、ワークを通して対応の工夫や保護者自身が肯定的なとらえ方を身につけることで、子どもとの良い関係づくりを目的で開催する。

対象：テーマに関心のある2～5歳の保護者

定員：15名

★実施済（2回×1クール 計2回）

内容	日程	会場	参加者数
子どもの行動を見てみよう	6/23	クレオ大阪子育て館	9
育てにくいも楽しむ子育て	6/30		9
子どもの行動を見てみよう	12/1	クレオ大阪子育て館	4
育てにくいも楽しむ子育て	12/15		4
計			26

※アンケートは各回、2回目のみ実施（13人分）

★発達ゆっくりさんの子育て応援講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	10
わかりやすかった	3
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	13

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	10
参考になった	3
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	13

【感想・意見】

- ・新しい気付きがあり、これからの子育てに役立てる事が出来そうです。
- ・毎日、当たり前前に出来ている事が実は「頑張っている」ことなんだと気づかせてもらった。自分の毎日を振り返る事が出来なかったので、とてもためになりました。
- ・いいところ探すと、ギリギリセーフ探しは意識してやっていきたい。

（３）ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：80名

★実施済 （1回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
3/1	鶴見区民センター	28	62	90

★実践報告会アンケート結果（回収率90%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	53
わかりやすかった	25
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	81

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	50
参考になった	29
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	81

【感想・意見】

・ペアトレの復習にもなったし、自分の子育ての言動、行動の振り返りが改めてできました。中学生のクラスがあれば再度参加したいです。

・とても貴重なお話を伺うことができました。今村先生のお話も参加者の方の体験談も、どちらの中にも、今日から実践できそうな具体的な内容があり、とても参考になりました。ペアレント・トレーニングもどのようなものかわからず不安だったので、参加者の方のリアルなお話を聞いて、イメージできてよかったです。

・今村先生のお話はとても興味深く、児童指導員として、一人の母親としてとても参考になりました。つい感情的になってしまうことも多々あり、「そうなりたくない、そうしても無意味だ」とわかっているけどどうしてよいかわからない時があります。まずはしっかり子どもたちを見て、どんとかまえて受け止めて接し方や支援方法を教えていけたらと思います。「ペアレント・トレーニング」の講座を保護者に勧めたいと思いました！（保護者は横のつながりを求めています）

・今回父親の参加があるなんて素敵だと思いました。

（４）ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。（2022年度実施済の講座のフォローアップ）

★実施済（6回）

対象	日程	参加者数
幼児	6/28	2
	7/6	4
学齢	5/15	4
	5/18	3
	5/30	6
	5/31	5
計		24

【2】基礎講座

（1）基礎講座

発達障がい診断を受けたばかりの保護者やグレーゾーンの保護者を対象に、発達障がいの基礎的な知識と支援についての講演を実施します。プラスでは、より具体的な支援方法についての講座を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済（4回）

内容	日程	会場	参加者数
ちょっと知りたい！ 発達障がい（基礎）	5/12	大阪市立 社会福祉センター	12
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	7/14	大阪私学会館	25
ちょっと知りたい！ 発達障がい（基礎）	11/7	ドーンセンター	24
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	2/31	大阪私学会館	19
計			80

★ちょっと知りたい！、見て・触って・考える発達障がいアンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	59
わかりやすかった	19
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	80

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	56
参考になった	24
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	80

【感想・意見】

・どんなかなと少し軽い気持ちで参加しましたが、とてもタメになる話が聞けて良かったです。今後の子どもとの関わり方が楽になっていきそうです。

・発達障がいの特性が具体的に説明をしていただきわかりやすかった。子どもがどのようなことで困っているのか少しでも理解できるようになればと思い、受講しました。困りごとに対しての環境を整えることにより、解消できることは本日以降工夫していこうと思いました。

・上の子（中学生）が発達障がいのグレーでペアレント・トレーニングに参加したり、本を読んだりしていましたが、下の子が今度小学生になり、改めてどう対応していこうかと思い、参加しました。学んでいるときはわかっていた事でも、時間がたつとわからなくなったり、しなくなることがあり、今回体験することもあり、そうか！と気づいたり、そうやったよねと思い出しました。今回の内容や、受けたペアレント・トレーニングのことも思い出しながら、日々子どもたちと接していきたいです。

（2）ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子（エルムおおさか センター長）

定員：各回40名

★実施済（2回×1クール 計2回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
わかりやすい環境づくり	10/11	ドーンセンター	28	15	43
気になる行動の考え方	10/25		30	12	42
計			58	27	85

★ASD講座アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	47
わかりやすかった	32
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	2
計	83

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	44
参考になった	39
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	83

【感想・意見】

- ・わかりやすい指示の仕方が勉強になりました。電車の中等静かな場面において大きな声で話しがちなので、ボリューム1～5の声の大きさを事前に一緒に練習しようと思います。
- ・前回、具体的な支援方法を学びたいと希望を出させて頂きました。今回の講座の中でそれを叶えて頂き、助かりました。多くの事例を紹介してくださり、これから活用していきたいと思います。
- ・具体的な「スケジュール」の見える化の例が分かりやすく、自宅でしてみようと思います。

（3）ADHD講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

1. ADHDスポット講座

対象：保護者・支援者・当事者

講師：中島 美鈴（九州大学大学院人間環境学府 学術協力研究員）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
青年期以降のADHDがある方のモノと時間の管理を支援する	10/6	C I V I 研修センター 新大阪東	52	44	96

★ADHDスポット講座アンケート結果（回収率92%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	45
わかりやすかった	38
難しかった	3
かなり難しかった	0
無回答	3
計	89

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	51
参考になった	35
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	89

【感想・意見】

・日頃の忙しさからポヤンとしか考えられていない子の特性について、実際の生活の中で見えるADHDの特性を思い返しなが講座を受けました。終了約30分前の質疑応答の時間で、実際に生活の中で感じている思いや支援など他者の方々の事例を聞けて共感をしたり、“一人ではない”と心強さが生まれました。

・ADHDの特性とその対策、声かけや質問応答などとても的確で分かりやすく、本当にタメになりました。自分もややADHDの傾向があるのではと思う部分があるので、自分自身の参考にもさせていただきます。

・ADHDの方だけでなく、スタッフでもスケジュール管理の方法などを体感して支援に使える部分は活用していきたいと思います。環境のせい、人のせい、モノのせい、良いキーワードを教えていただいたので活用していきたいです。

2. 学齢期のADHD講座

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：福井 美保先生（大阪大谷大学 教授）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
ADHDのある子ども達の理解と対応～学齢期～	11/20	J E C 日本研修センター 心斎橋	20	30	50

★学齢期ADHD講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	40
わかりやすかった	8
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	50

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	43
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	50

【感想・意見】

・LDの診断はないのに、学習面でのミスが多く、LDとの違いがわからずもやもや（ASD, ADHD診断済9歳）していた矢先だったので、大変勉強になりました。親として適切に子どもに寄り添っていけるよう頑張ります。

・あらためてADHDのこと、知識を整理できてよかったです。一般の方は少し難しい内容のところもあったかもしれませんが、解りやすく説明していただい、大変勉強になりました。

・とても大切なことに気づかされた講座になりました。子どもに反映させていきたいと思います。ありがとうございました。

（４）ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまづきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回50名

★実施済（5回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
豊かなことばを育むために	5/17	大阪産業創造館	6	37	43
聞く力・話す力の理解と指導へのヒント	6/6	リンク大阪	30	25	55
基礎的な読み書きの力を育てる	7/4	大阪市立社会福祉センター	23	29	52
読み書きの力を育てる～高学年での課題と学習支援～	10/24	リファレンス大阪	17	19	36
算数でつまづく子どもの理解と指導へのヒント	2/27	大阪産業創造館	27	24	51
計			103	134	237

★LD講座アンケート結果（回収率99％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	161
わかりやすかった	57
難しかった	6
かなり難しかった	0
無回答	12
計	236

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	168
参考になった	60
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	7
計	236

【感想・意見】

- ・2歳の発語のない子どもにどうしようかと思っていましたが変わって行けそうです。子どもへの言葉かけや環境調整を考えていきたいと思います。
- ・非常にわかりやすく、今日から実践してみようと思える内容がたくさんありました。
- ・様々な子どもの見方やアプローチの方法を知れて大変参考になりました。支援の際に生かしていきたいと思います。

（５）心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：小学生の保護者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：20名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手を理解しよう	1/23	大阪私学会館	16

★心理的疑似体験プログラムアンケート結果（回収率100％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	12
わかりやすかった	0
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	4
計	16

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	14
参考になった	0
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	16

【感想・意見】

- ・困っている状態に追い打ちになる言葉をかけてしまっていました。まずマイナスになるような言葉をなくしていきます。
- ・想像していた以上に子どもは困っていたのだと感じた。「なんでかな？」と思っていたことが少し理解できた。大人がもっと柔軟に対応していくことも大切で言うてはいけないこともたくさん言っていた・・・今日は「学校ががんばったね」と抱きしめてほめてあげたい。
- ・あ・い・う・え・おを言いながら、ひらがなで文を理解するのがこんなに難しいなんて思いませんでした。体験をしないと分かっていないことが多いと思いました。

（6）ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（兵庫医療大学 准教授 作業療法士）

定員：各回30名

★実施済（2回×1クール 計2回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
感覚と運動発達の視点から	6/12	大阪私学会館	19	22	41
身体と手先の動きを育てよう	6/19		21	21	42
計			40	43	83

★からだ講座アンケート結果（回収率97％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	59
わかりやすかった	14
難しかった	4
かなり難しかった	0
無回答	4
計	81

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	60
参考になった	18
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	81

【感想・意見】

- ・自分の子どもに当てはまる点が多くとても勉強になりました。赤ちゃんの頃にもう少し知っていたらと思いますが、今でもできることをやって子どもが過ごしやすいうにできたらと思います。
- ・座位や不器用さが気になるので、第1回2回ともとても参考になりました。家や療育先でチェックしてもらって、それぞれ出来ることをやっていこうと思います。

・運動発達と赤ちゃんの発達の比較がとても興味深かったです。人間の発達段階1つ1つに意味があると改めて感じられました。

【3】保護者向けソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回20名

★実施済（幼児期・学齢期 各3回×1クールずつ）

区分	内容	日程	会場	参加者数		
				保護者	支援者	計
幼児期	幼児期で身に付けたい ソーシャルスキルについて	9/6・13・20	ドーンセンター	16	36	52
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/21・28・12/5	福島区民センター	40	27	67
計				56	63	119

★SST講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	81
わかりやすかった	33
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	119

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	84
参考になった	33
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	119

【感想・意見】

・負けず嫌いの子供がいます。負けていい。これぐらいでいい。まあいいなど、大人から子供に気持ちを伝えて理解してもらえるようにするのが大切と学び、実践していこうと思います。

・経験があるから「こうしたい」を伝えられるというお話を聞いて、「こうしたら落ち着ける」というのが子供が見つけられるように試行錯誤しながら見つけたいと思いました。（我が家はサンドバックを最近取り入れました）←でも学校にはないので・・・。

・社会性の土台として身体作り（運動）や言語発達が大切ということが分かりました。しりとりや”あ”から始まる言葉など遊びながら取り入れていきたいです。疑似体験プログラムもあり、おもしろかったです。

【4】家族支援講座

きょうだいを抱えやすい悩みや、きょうだい会での実践について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：滝島 真優先生（きょうだい会SHAMS 代表）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
きょうだい支援の必要性と 支援の実際	6/2	CIVI北梅田 研修センター	13	20	33

★家族支援講座アンケート結果（回収率100％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	23
わかりやすかった	9
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	33

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	19
参考になった	14
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	33

【感想・意見】

- ・今後、きょうだい児のできるフォローがわかって、気持ちが楽になりました。
- ・6歳の子どもに自閉症と軽度知的障害があり、この先どのようなことが起こりうるか知りたくて受講しました。気持ちを話し合える親子関係をしっかり作り、ため込まないようにきょうだい児の心のケアにも気を付けようと思います。
- ・ご兄弟の方の成長年代に応じた家族への感情やモノの感じ方にフォーカスした内容が分かりやすくまとめておられて、当事者の方々の気持ちに立って考える事ができました。

【5】当事者による講演会（体験談等）

発達障がい当事者による体験談などを交えた講演会。

対象：当事者・保護者・支援者

講師：広野ゆい先生（NPO法人 DDAC 代表）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
大人の発達障がい ～自分の発達凸凹を知って 自分らしく生きる～	2/10	大阪私学会館	32	62	94

★当事者によるアンケート結果（回収率94％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	55
わかりやすかった	26
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	7
計	89

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	63
参考になった	20
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	89

【感想・意見】

- ・東海テレビのCMの映像は泣いてしまいそうでした。いろんな人がいるなあ…と。帰ったら旦那ともう一度見ようと思います。

・受容することの大切さがわかり、自分もそうできるように考え方を考えていこうと思うことができました。仕事が長く続かず、将来に悩んでいる中での参加でしたが、大変参考になることがたくさんありました。

・本日は大変貴重な時間を頂きましてありがとうございます。人類皆凹凸誰一人として平坦な人はいない、障がいがある障がいがないというものさしではなく、その人「らしさ」を活かせる社会の実現のためにも今後私も参加したいと考えます。

【6】保護者向けライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身につけておくとう良い、ライフスキルについて講演を実施する。

対象：保護者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部附属病院 子供のこころ診療部 部長）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障害のある子どもの ライフスキルを育てる	9/30	K I T E N A新大阪	65

★保護者向けライフスキル講座アンケート結果（回収率96%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	47
わかりやすかった	10
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	6
計	63

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	54
参考になった	6
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	63

【感想・意見】

・ものすごくスッキリはっきり先の道がクリアになりました。周りの理解（環境）が大事ということが実感できましたし、私自身まだ迷いながらも本人にプレッシャーをかけていますし、夫の理解もまだまだ得られていない難しさもありますが、障がいという言葉にふりまわされず二人の子どもそれぞれの得意・不得意、好き・嫌いを理解して育てたいです。また、違う星の人間を許容できるように社会のサポートもしたいなと思います。

・なかなかテーマにならないライフスキルのお話ありがとうございました。スキルはASDでも学び身につけることができると先生の本で読ませていただき、どのようにすれば？と悩むこともありましたが、合意をキーワードに視覚的構造化をベースに続けていきたいと思っています。

・発達障がいの疑いがある子どもを育てる親として、将来どんな風に子どもが生きていくのかをイメージしやすい講座でした。今から子どものためにライフスキルを一緒に育てていき、興味のあることから始めていこうと思います。「これくらいやってよ」と言ってしまうことがあったので、帰ってからは使わないようにしようと思います。

【7】デジタル支援講座

学校内でのデジ教科書やタブレット活用法などについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：福井 喜章先生（大阪府立八尾支援学校）

定員：80名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
I C Tを利用して読み書き支援の ハードルを低くしよう ～将来を見据えた音声教材などの 活用方法を考える～	2/16	J E C日本研修センター 心斎橋	34	2	36

★デジタル支援講座によるアンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	11
わかりやすかった	13
難しかった	6
かなり難しかった	2
無回答	4
計	36

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	14
参考になった	19
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	36

【感想・意見】

- ・事前の知識がなかったので、情報いっぱいなところもありましたが、知らないことをたくさん知れて良かったです。実際に教科書を触れたのもとても良かったです。
- ・知らない情報をたくさん聞けて勉強になりました。色んな便利なものがあるので、活用していきたいと思います。
- ・今日の講座は私にとって理解するにはことばの意味やICTの理解がおいつかなくて難しいとは思いましたが、子どもにとっては有効なお話だったのだらうと思い、帰宅してからゆっくりレジュメを読み返し、QRコードをつけていただいているので情報を確認したいと思います。

支援者講座

【1】集合研修

（1）啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済（24回）

対象	内容	会場	日程	参加者数
市職員（区役所関係）	平野区役所保健福祉課 職員研修（午前）	平野区	11/28	25
	平野区役所保健福祉課 職員研修（午後）	平野区	11/28	31
	子ども青少年局（子どもサポート推進員研修会）	阿倍野区	2/2	26
	住之江区役所	住之江区	3/6	32
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	4/19	6
	雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座	中央区	7/4	59
	西区自立支援協議会	西区	7/24	44
	旭区生活困窮者自立支援事業 くらし相談窓口	旭区	8/22	11
	淀川区社会福祉協議会	淀川区	8/23	10
	NPO法人 ワークステージ	阿倍野区	8/26	22
	東淀川区自立支援協議会こども部会	東淀川区	9/8	22
	住之江区自立支援協議会精神保健ネットワーク部会	住之江区	10/27	29
	雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座	中央区	11/13	51
	更生療育センターにここ倶楽部（専門療育）	平野区	11/13	25
	イービーイング 人権啓発推進委員	鶴見区	11/16	47
	リアン東さくら（母子生活支援施設部会）	東成区	11/17	15
	旭区人権啓発推進委員連絡会	旭区	12/6	10
	港区社会福祉協議会 見守りサポーター事業	港区	12/21	25
	浪速区青少年指導員連絡協議会	浪速区	12/22	25
	つながる体制推進委員	北区	12/26	22
	生野支援学校PTA特別支援委員会	生野区	1/12	19
	旭区社会福祉協議会	旭区	2/7	16
	城東区社会福祉協議会	城東区	2/14	16
	更生療育センターにここ倶楽部（専門療育）	平野区	2/19	25

(2) 支援者講座

1. 指定障がい福祉事業所向け 基礎講座

発達障がい児・者の支援に必要な基礎知識の講演を実施する。

対象：指定障がい福祉事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：各回100名

★実施済 (2回)

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援	6/13	WEB	99
発達障がいの理解と支援	11/17	WEB	102
計			201

★基礎講座アンケート結果 (回収率76%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	92
わかりやすかった	53
難しかった	9
かなり難しかった	0
無回答	0
計	154

講演内容について (役立度)	人数
大変参考になった	109
参考になった	40
あまり参考にならなかった	5
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	154

【感想・意見】

- ・例示を多く上げながら解説して下さったので分かりやすかったです。
- ・貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。体験もでき、発達障害の子どもがどのように見えているのか・考えているのかより分かりやすかったです。とても勉強になりました。
- ・資料も講義もとても分かりやすく話していただけて大変良かった。

2. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座 (実践編)

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生 (一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事)

定員：40名

★実施済 (1回)

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 (実践編)	12/12	JEC日本研修センター 心斎橋	48

★基礎講座 (実践編) アンケート結果 (回収率100%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	39
わかりやすかった	6
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	48

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	41
参考になった	6
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	48

【感想・意見】

- ・今まで基礎編ばかり参加していたので実践編でより具体的に考え、意見を交換する経験が出来て良かったです。仮説整理シートが使いやすく現場で取り入れたいと思います。
- ・仮説、生成、検証のプロセスを具体的に学ぶことができました。また、アセスメントと聞くとハードルが高いものという印象でしたが、今回の方法は実践しやすいと感じました
- ・知識を得られる講座もいつも大変参考になっていますが、今回はワーク形式で実際に現場で働く上での考え方、支援へのつなげ方など、現場に落とし込みやすい手法をご教示頂けて勉強になりました。普段関わる事のない他の事業所の方と交流が出来て良い機会になりました。

3. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：譲田 和芳先生（b o n ワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいの理解と支援 （実践編）	8/1	J E C 日本研修センター 心斎橋	54

★基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	32
わかりやすかった	20
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	54

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	33
参考になった	21
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	54

【感想・意見】

- ・良くない支援の話で、自分にあてはまることもあり、ハッとすることが多かったです。出来ないことが出来るまで練習するのではなく、その人がしやすいように考えることが大切だと感じました。
- ・日々仕事に追われて個別支援計画についても視点やニーズの捉えかたも浅くなっていると感じました。今後、自分の仕事に対して工夫やアイデアが大切だと思います。
- ・個数の数えかた、袋詰め等、利用者の特性を活かした作業方法を確立されており、勉強になりました。

4. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：支援者

講師：平木 真由美先生（NPO法人発達障害サポートセンターピュア）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
発達障がいとセクシャリティと人権	1/17	大阪私学会館	23

★セクシャリティの支援者対象講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	15
わかりやすかった	8
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	23

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	18
参考になった	5
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	23

【感想・意見】

- ・元教師ですが、やはり性教育を行うのは技術面で難しいというか、知識がないと教えられないと思いました。ただ、成長するにつれて「性」に興味を持ってもおかしくないのも、上手に性教育を行う必要があると改めて感じました。また、色々聞きたいです。
- ・ロールプレイやグループワークがあり、聞くだけではなく参加者同士で実際にやってみることが分かりやすくセクシャリティについて深く考えられた。
- ・とても難しい問題だと感じていましたが、正確に伝えることの大切さがわかりました。

5. 区役所の支援者対象講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的ななかかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：中島 順子先生（大阪医科大学L Dセンター 言語聴覚士）

定員：50名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
コミュニケーションを促す指導法「インリアル・アプローチ」	8/30	大阪市中央公会堂	46

★区役所の支援者対象講座アンケート結果（回収率97%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	30
わかりやすかった	10
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
計	45

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	34
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	45

【感想・意見】

・あっという間に終わってしまったので、もっと長くても良かったです。ビデオを観る時間もあったので、3～4時間の研修でも良かったと思います。第2弾を期待しています。

・インリアル・アプローチの説明から具体的な方法まで、丁寧にお伝え頂きとても勉強になりました。心理相談や面接の場で関わり方に悩んでいる方や、声かけの方法を知りたいと思っている方に伝えたり、自分自身も子どもたちに関わる中で意識していきたいと思いました。観察・評価・目標設定も心理場面の見立てにとても役立つなあと思い、意識していきたいと思いました。貴重な話だった。

・幼児と遊ぶなかでいつも機嫌を損ねないようにということにばかり気を配っていたので、今日の子どもの発達を伸ばす関わり、理論の視点は大切だと思った。また、大人の姿勢を見直す機会はありませんでしたので、今後意識したい。

6. 支援者向け心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持ちを体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：発達障がい児に関わる支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：40名

★実施済 （1回）

内容	日程	会場	参加者数
『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう	6/27	J E C 日本研修センター 心斎橋	37

★心理的疑似体験アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	29
わかりやすかった	7
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	1
計	37

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	30
参考になった	6
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	37

【感想・意見】

・実際に子どもが感じているストレスなどを体験できたので、これからの子どもとの関わり方にいかしていきたいと思いました。

・注意の動画で子どもが教室で感じる事（先生や他の生徒からの態度）を子ども側の視点で見て、ショックでした。辛いだろうなあと思います。子どもの苦手さに対する配慮と不安を取り除く声かけや対応、これは大人側のスキルがあれば出来る事だと思います。スキルが無い人ほど、自分の視点しか持てない。学ぶことがまずは大切だと実感しました。

・どうしてできないのか、どうして難しいのか・・・という所が今までわからなかったもので、少しは気持ちを理解する事が出来た気がします。今まで出会った子ども達の顔が浮かんで来て、とても分かりやすい内容でした。

（３）ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特徴のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/8～11/9	たかつガーデン	8
7/26～12/20	たかつガーデン	6

【２】機関コンサルテーション**（１）出前研修**

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済（7回）

対象	内容	日程	参加者数
障がい児通所施設	発達障がい基礎講座	4/18	17
	発達障がい基礎講座	5/26	8
	発達障がい基礎講座	5/30	9
	発達障がい基礎講座	3/13	5
保育所・園	発達障がい基礎講座	6/29	5
	発達障がい基礎講座	11/24	8
成人期支援機関	発達障がい基礎講座	3/1	14
計			66

★アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	40
わかりやすかった	18
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	7
計	65

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	42
参考になった	16
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	7
計	65

【感想・意見】

・視覚支援のためのツールで色んな便利なアプリがあるのだと知りました。色々勉強して、現場に活かしていきたいと思います。自分の自己満足にならないように常に自分の支援を振り返りながら取り組んでいきたい。

・障がいについて自分が知っている事以外にも新しい内容や支援方法を知る事ができた。子ども達の行動の理由も、もっと深く知っていきたい。

・これから環境整備にも、もっと工夫していきたい。

（２）訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ105回・56か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	55	21
障がい児通所・入所施設	4	4
教育関係機関		
成人期支援機関	25	10
障がい児・者相談支援機関	1	1
居宅介護事業所		
社会福祉協議会		
区役所（保健福祉含む）		
労働関係機関		
その他	20	20
計	105	56

【３】成人支援講座

（１）成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

②ガイダンス

↓ 機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。
2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

↓ 各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

（２）成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症eサービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 家族等	支援者	計
自閉症理解と支援	5/25	J E C 日本研修センター 心斎橋	6	89	95

★アンケート結果（回収率94%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	44
わかりやすかった	46
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	90

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	51
参考になった	37
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	90

【感想・意見】

- ・「場当たりの対応」をするのではなく、行動が生まれる理由や支援者の支援や配慮について具体的な例をもとに知れたので良かったです。日々の支援に生かしていきたいと思います。
- ・動画を用いての講座で現場のリアルな光景を見れたのでわかりやすかったです。一人一人を観察した上で、アイデアや発想もすごく大切だということが良くわかりました。
- ・自閉スペクトラム症の方への対応で理解はしていても実際にどうすべきか、常に頭を悩ませていました。間違った支援をしてしまっていた事にも気付かされました。今日ご紹介いただいた本やDVD等を参考に勉強させていただきます。

②ガイダンス

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
コンサルテーションの意義等	7/6	リハビリテーションセンター 第1会議室	5

③まとめ報告会

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
取組内容の整理 支援の方向性など	1/12	リハビリテーションセンター 第1会議室	5

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	就労継続支援B型	29歳男性 広汎性発達障がい 精神障がい者保健福祉手帳3級 気になる行動への対応
②	就労移行	23歳男性 ASD ADHD 精神障がい者保健福祉手帳2級 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容
③	生活介護	28歳男性 ASD ADHD 強度行動障がい 療育手帳A 気になる行動への対応

①	生活介護	24歳男性 A S D 強度行動障がい 療育手帳A 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容・行事への参加の手立て
②	生活介護・自立訓練	21歳男性（生活介護利用中） 自閉傾向 療育手帳B 1 コミュニケーション支援の具体的助言

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症eサービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 家族等	支援者	計
現場支援におけるアセスメント	3/9	大阪私学会館	5	78	83

★実践報告会アンケート結果（回収率71%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	27
わかりやすかった	32
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	59

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	30
参考になった	29
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	59

【感想・意見】

・自閉症についてケースなども示して頂き、とてもわかりやすかったです。また、各事業所の発表はとても学びになります。社のスタッフに報告をして参ります。

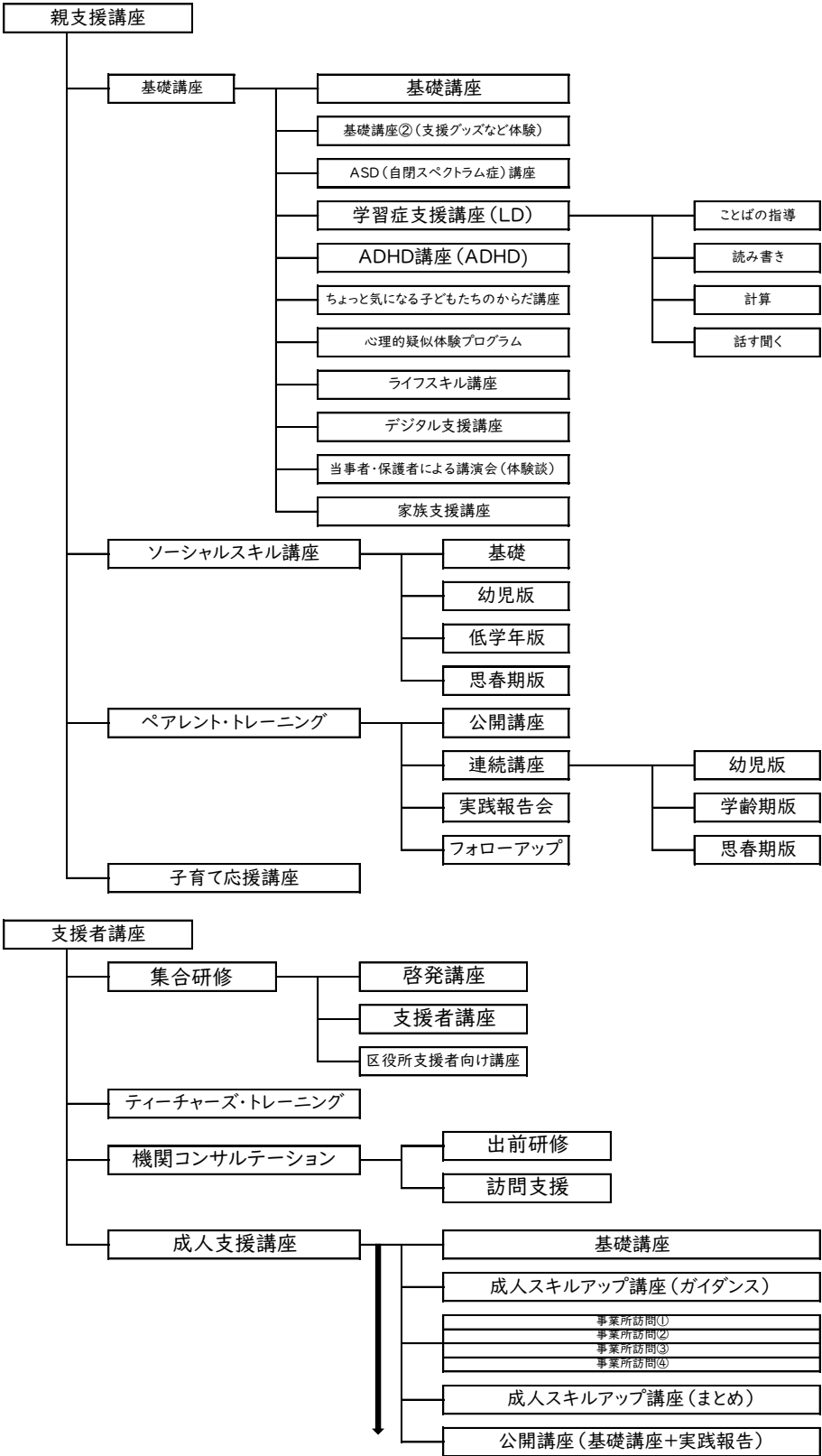
・現場は目の前の利用者に対応に精一杯でいつまでも同じ支援というのは本当にその通りだと思います。中核的人材を育てることが制度化され、外部の力を借りることは必要だと思いました。

・今回のお話をうかがって感じたことは、支援者側の考えが非常に大事だということでした。環境に要因があり、いかにご本人とマッチした支援（取り組み）が組み立てられるのが肝だと思いました。アセスメントの大切さ、見立て、トライ＆エラーの積み重ねなど参考になることばかりで、学びの多いものでした。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和6年4月～令和6年6月）

事業概要

2024年度 エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】基礎講座

(1) 基礎講座

発達障がい児・者の特性や、基礎的な知識と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：小田桐早苗（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科社会連携センター講師）

定員：各回100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	6/14	WE B	34	97	131

★基礎講座アンケート結果（回収率51％）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	55
わかりやすかった	11
難しかった	0
かなり難しかった	1
無回答	0
計	67

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	52
参考になった	14
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	1
無回答	0
計	67

【感想・意見】

- ・とてもわかりやすく、あたたかい視点でお話して頂き良かったです。具体例も参考になりました。
- ・同じ病名でもそれぞれ症状が違いうように、障がいにも個人差があることを理解しその人自身と向かい合っていく事が大切であるとわかりました。
- ・私もADHDで息子がASDで今もとても苦しんでいます。先生のような話が聞ければ、ただ苦しむだけの人生ではない事がわかった。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 （基礎編）	11/20	WE B

(2) 基礎公開講座②（支援グッズなど体験）

発達障がいの特性に合わせた基本的な対応方法を考えたり、支援グッズなどを見たり触ったりする事で、お子さんとの関わりを一緒に考える。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回30名

★実施予定（2回）

内容	日程	会場
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	7/9	早川福祉会館
見て・触って・考える 発達障がいのある子への サポート（プラス）	調整中	調整中

(3) ASD (自閉スペクトラム症) 講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化(環境調整)の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子 (エルムおおさか センター長)

定員：40名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
わかりやすい環境づくり 気になる行動の考え方	9/27	ツイン21 MIDタワー

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す (LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生 (大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV)

定員：各回50名

★実施済 (2回・実施予定3回)

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～	5/22	ドーンセンター	13	39	52
聞く力・話す力の 理解と指導へのヒント	6/19	大阪市中央公会堂	19	39	58
計			32	78	110

★実践報告会アンケート結果 (回収率93%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	70
わかりやすかった	30
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	103

講演内容について (役立度)	人数
大変参考になった	82
参考になった	21
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	103

【感想・意見】

・今まさに悩んでいる問題についての話を聞かせていただき、本当に有難かったです。濃厚で貴重な話が聞けた。

・学習障害への理解を求めるためのヒントが得られました。親の対応 (自分の対応) が悪かった所も知ることが出来たので、自分 (親) が勉強する教材も知れて助かりました。

・子ども1人ひとりの特性を見極めて、対応する必要性。それを判断するチェックポイントを知れたのは参考になりました。

★実施予定 (3回)

内容	日程	会場
基礎的な読み書きの 力を育てる	9/18	ドーンセンター
豊かなことばを 育むために	10/9	大阪産業創造館
算数でつまずく子どもの 理解と指導へのヒント	2/19	調整中

（５）ADHD講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

対象：保護者・支援者・当事者

講師：調整中

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
ADHD講座（仮）	調整中	調整中

（６）ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（作業療法士）

定員：各回40名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
感覚と運動発達の視点から 身体と手先の動きを育てよう	7/12	大阪市立 社会福祉センター

（７）心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持ちを体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
『LD・ADHD等の心理的疑似体験 プログラム第3版』で学習時 の「聞く・話す・読む・書 く」の苦手さを理解しよう	7/3	大阪私学会館

（８）ライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身につけておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

１．ライフスキル講座①（学生支援）

対象：高校生・大学生・保護者・支援者

講師：勝田 麻津子先生（同志社大学 学生支援センター コーディネーター・臨床心理士）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
学生支援 -進路選択の留意点と大学での 合理的配慮-	7/24	JEC日本研修センター 心斎橋

2. ライフスキル講座②（生活）

対象：保護者・支援者

講師：金川 善衛先生（NPO法人 日本学び協会 法人理事）

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
『生活の困り事への向き合い方 -原因理解と対策の立て方-』	12/10	C I V I 北梅田 研修センター

3. ライフスキル講座③（仮：性教育）

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：調整中

定員：50名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
性教育について（仮）	調整中	調整中

（9）デジタル支援講座

学校内でのデイジー教科書やタブレット活用法などについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：調整中

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
デジタル活用法（予定）	調整中	調整中

（10）当事者・保護者による講演会（体験談等）

発達障がいの当事者や保護者による体験談などを交えた講演会。

1. 当事者・保護者による講演会

対象：当事者・保護者・支援者

講師：調整中

定員：80名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
当事者・保護者による体験談 （予定）	調整中	調整中

（11）家族支援講座

きょうだいが抱えやすい悩みや、きょうだい会での実践について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
家族支援講座（予定）	10/14	C I V I 研修センター 新大阪東

【2】 ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にするための具体的な行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、日々の取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施予定（幼児期、学齢期 基礎1回 ・ 各2回×1クールずつ）（思春期 1回）

区分	内容	日程	会場
幼児期 低学年	幼児期・低学年で身に付けたい ソーシャルスキルについて（基礎）	11/13	大阪私学会館
学齢期 (低学年)	小学校（低学年）で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/27・12/4	リファレンス大阪
幼児期	幼児期で身に付けたい ソーシャルスキルについて	11/28・12/5	リファレンス大阪
思春期	ソーシャルスキルとしての 自己理解をどう育てるか	1/29	調整中

【3】 ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

（1） ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（1回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
6/11	大阪府社会福祉会館	40	26	66

★実践報告会アンケート結果（回収率98%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	44
わかりやすかった	19
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	65

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	48
参考になった	15
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	65

【感想・意見】

・具体的な話も織り交ぜながら話してくださり、大変分かりやすく、家ですぐ実践したいと思える内容をたくさん学ぶことができました。

・初めてペアトレを受けましたが、まさにわが子のことを話されているようで、すごく興味深かったです。私自身、ペアトレ講座を受講し、学びたいと思いました。

・ペアレント・トレーニングとはどういったものなのか、今まで言葉しか知らなかったもので、とても勉強になった。園でもにたようなことはしているが一環として同じ対応であったり、知識不足なため、あまり効果が出ていないこともある。もっと学びたいと思った。

★実施予定（1回）

日程	会場
8/22	WEB（オンデマンド）

（2）ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：今村 佐智子先生、 石本 真佐子先生、 地域サポートコーチ

定員：8名

★実施中・実施予定（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール 9回×1クール 計89回）

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	5/9～7/18	港区民センター	9		9
	9/10～11/19	東淀川区民会館	実施予定		-
	9/19～11/21	ドーンセンター	実施予定		-
	調整中	調整中	実施予定		-
	調整中	調整中	実施予定		-
学齢	5/15～10/23	天王寺区民センター	5	1	6
	5/21～10/22	大阪産業創造館	5	1	6
	8/30～1/17	城東区民センター	実施予定		-
	10/15～3/11	福島区民センター	実施予定		-
	10/17～3/13	港区民センター	実施予定		-
思春期	10/15～3/11	たかつガーデン	実施予定		-

（3）ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：100名

★実施予定（1回）

日程	会場
3/4	調整中

（4）ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。

1. 2023年度実施済の講座のフォローアップ

★実施済（4回）

対象	日程	参加者数
幼児	6/3	6
学齢	5/30	4
	6/5	5
	6/24	5
計		20

★実施予定（1回）

対象	日程
幼児	7/11

2. 2024年度予定のフォローアップの定期会

2024年度から年に6回（春3回・秋3回）でフォローアップの定期会を開催する。

★現時点での実施済（2回）

対象	日程	参加者数
幼児・学齢	6/21	8
	6/26	15
計		23

★実施予定（4回）

対象	日程
幼児・学齢	7/1
	調整中
	調整中
	調整中

【4】子育て応援講座（クレオ大阪子育て館との共催）

発達ゆっくりさんの子育て応援講座

子供の行動について学び、ワークを通して対応の工夫や保護者自身が肯定的なとらえ方を身につけることで、子どもとの良い関係づくりを目的で開催する。

対象：テーマに関心のある2～5歳の保護者

講師：望月 直人先生（大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター相談支援部門 准教授）

定員：15名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数
子どもの行動を見てみよう	6/10	クレオ大阪子育て館	11
育てにくいも楽しむ子育て	6/17		11

※アンケートは2回目のみ実施

★発達ゆっくりさんの子育て応援講座アンケート結果（回収率100%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	7
わかりやすかった	4
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	11

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	7
参考になった	4
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	11

【感想・意見】

・文字におこすと子供も私もしっかり頑張れていることがわかった。普段の関りで良い、何も特別なことは必要ないと感じることができました。

・ほめることの大事さを感じました。自分をねぎらう事を忘れずにと行って下さった先生の言葉が心にひびきました。

・「ほめるチャンスが増える」子どものいいところ探しのワークは、より具体的に考えて書き出すことができました。「うちの子は普通の子よりできなくて当たり前・・・！！」と勝手に思い込んでいたので、当たり前前にできているところ（良いところ）がたくさんあり、成長していたんだなと感じました。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
子どもの行動を見てみよう	1/18	クレオ大阪子育て館
育てにくいも楽しむ子育て	1/25	

※アンケートは2回目のみ実施予定

支 援 者 講 座**【1】 集合研修****(1) 啓発講座**

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済み (2回)

対象	内容	会場	日程	参加者数
当事者・保護者・団体等	職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科	平野区	4/16	5
	放デイの会	平野区	6/28	30

(2) 支援者講座**1. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）**

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生（一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事）

定員：40名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 （実践編）	12/3	J E C 日本研修センター 心斎橋

2. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座 （実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：譲田 和芳先生（b o n ワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：40名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
発達障がいの理解と支援 （実践編）	8/1	J E C 日本研修センター 心斎橋

(3) 区役所支援者向け講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的ななかかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：大阪市更生療育センター職員

定員：30名

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
大阪市更生療育センターで学ぶ 「発達障がいのある お子さんのための専門療育」	8/19	・大阪市立心身障害者リハビリ テーションセンター ・更生療育センター

【2】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特性のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済み・実施中（6回×2クール 計12回）

期間	会場	参加者数
6/12～11/13	たかつガーデン	8
7/25～12/19	たかつガーデン	8

【3】機関コンサルテーション

（1）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施予定（2回）

対象	内容	日程
保育所・園	発達障がい基礎講座	8/21
成人期支援機関	発達障がい基礎講座	9/19

（2）訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ15回・14か所）

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	11	10
障がい児通所・入所施設		
教育関係機関		
成人期支援機関		
障がい児・者相談支援機関	1	1
居宅介護事業所		
社会福祉協議会		
区役所（保健福祉含む）		
労働関係機関		
その他	3	3
計	15	14

【4】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

＜実施事業所の募集と選定＞

②ガイダンス

↓ 機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

↓ 初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

↓ 各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症eサービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施済（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			本人 家族等	支援者	計
強度行動障がいに対する 中核的人材の役割	5/24	J E C 日本研修センター 心斎橋	4	97	101

★アンケート結果（回収率91%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	56
わかりやすかった	34
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	1
計	92

講演内容について（役立度）	人数
大変参考になった	58
参考になった	33
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	92

【感想・意見】

- ・誰目線で支援を行うのか、知らず知らずに家族や支援者の都合や思い込みになっていることが、当事者の困り事になっていることに改めて気付きました。
- ・問題行動に対する適切な初期対応がとても勉強になりました。
- ・冰山モデルマトリックスが大変参考になりました。全ての支援に使えと感じました。現場に落とし込むことを意識したいと思います。

②ガイダンス

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
コンサルテーションの意義等	7/4	リハビリテーションセンター 第1会議室

③まとめ報告会

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
取組内容の整理 支援の方向性など	1/10	リハビリテーションセンター 第1会議室

【スキルアップの実施状況】

事業所	施設種別	対象者の概要・課題点
①	就労移行	22歳男性 A S D 精神障がい者保健福祉手帳3級 気になる行動への対応・活動内容・ コミュニケーション支援の具体的助言・施設の環境調整
②	就労継続支援B型	25歳男性 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言
③	共同生活援助	34歳女性 自閉症 療育手帳A 強度行動障害の状態にある方 気になる行動への対応・施設の環境調整・視覚支援
④	就労継続支援B型	28歳男性 多動とこだわりの強さがあり 療育手帳A 気になる行動への対応・施設の環境調整
⑤	居宅介護（身体介護） サービス付き障がい者向け住宅	52歳男性 自閉症 療育手帳A 気になる行動への対応・施設の環境調整

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：100名

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
調整中	3/16	大阪私学会館